

薬局実務実習の実際

島根県薬剤師会 実務実習委員会
渡部 賢司
(みどい薬局 塩冶店)

3-①実習生本人

- 本人との距離感の取り方はなかなか難しい
(近すぎず、遠すぎず):ハラスメントに注意
- 遅刻、早退、欠席などをはじめ、連絡はきちんとしてもらいましょう
- 褒めること、評価することも必要です(**PNP** :
ポジティブ・ネガティブ・ポジティブ)
- 実習生と二人きりになる空間はできる限り少なくしましょう

今日のメニュー

- 1 スケジュール作成へのヒント
- 2 指導しにくいISB0sへのヒント
- 3 トラブル対策へのヒント
- 4 まとめ

みどい薬局で関わった実習生

配布物にはない
スライドです！

2011年 第1期 (5~7月)

Aさん <HK大学>

2012年 第1期 (5~7月)

Bさん <F大学>

2014年 第1期 (5~7月)

Cさん <F大学>

2016年 第1期 (5~7月)

Dさん <HK大学>

みどい薬局で関わった実習生

配布物にはない
スライドです！

2018年 第Ⅰ期（5～7月）

Eさん＜F大学＞

Fさん＜MY大学＞

2019年 第Ⅱ期（5～8月）

Gさん＜F大学＞

Hさん＜KG大学＞

1. スケジュール作成へのヒント

- ①細かいスケジュールをたてない
- ②テキストを使用した講義は行わない
- ③できるだけ早く患者さん(orお客さん)と接する機会を持たせる

1-①細かいスケジュールをたてない

- ・1つ1つのSBOやコマ(1コマ90分)にこだわる必要はなし。

- ・SBOs(到達目標)をこなすことを意識しつつ、GIO(一般目標)を達成できるように実習を行う。

- ・薬局の窓口での実習を主体におく。

**改訂コアカリ(2019年)、代表的8疾患
ループバック評価、大学・病院との連携**

2019年から改訂コアカリキュラムによる実習がスタート

- ・大学・病院・薬局が連携した実務実習

- ・代表的8疾患

がん、高血圧症、糖尿病、心疾患

脳血管障害、精神神経疾患

免疫・アレルギー疾患、感染症

- ・**薬局・病院実習の5か月間を通して8疾患を学習するため、全ての疾患を完全に網羅する必要はない。**

- ・**疾患や処方内容、服薬指導で得た患者情報(検査値、症状、併用薬など)から他の関連する疾患について学習することで対応可能。**

- ・**学習成果基盤型教育(OBE)の考えに基づいた概略評価(ループバック)**
- ・**概略評価表を用いて定期的(2~4週間)に実習を振り返り、実習生がどの段階まで成長したかを評価する。**

1-②テキストを使用した講義は行わない

- ・薬学生は事前学習でテキストを用いた講義を行っているため、薬局では知識の確認を行う。（学生の知識を引き出す）**
- ・学生にYES、NOで答えることができない質問をして、その日の実習テーマを決定する。**

実習テーマ(例1)

- ・薬局・薬剤師のイメージは？
- ・服薬指導時に有効な話題は？(薬や病気のこと以外で)
- ・患者さんにとってお薬手帳を持つメリットは？
- ・後発品(ジェネリック)について患者さんから尋ねられた場合、どのような説明をしますか？
- ・どのような患者さんに一包化をすすめますか？

実習テーマ(例2)

・自分が薬をもらうときに、どのような説明・対応を薬剤師に期待しますか？

(高血圧・脂質異常症、風邪薬、新患など)

・血圧の数値を患者さんに尋ねる場合、どのように聞きますか？(嫌がられずに聞く方法)

・薬剤師がかかわりを持っている他職種にはどのようなものがありますか？

③できるだけ早く患者さん(orお客さん)と接する機会を持たせる

- ・**2014年以降の学生は実習2日目から服薬指導を開始(2012、2018、2019年の学生は在宅同行)**
- ・**1日1～5人。(風邪薬や高齢者、話しやすい方から)**
- ・**服薬指導後に、薬の効果や副作用、患者対応などについて話し合う。**
- ・**できたこと、できなかったことを確認し、次回の服薬指導の目標をたてる。**

服薬指導のメリット

- ・調剤のみを行うよりも、薬の効果や患者対応など多くのことを一度に指導できる。
- ・複数の薬剤師がいる薬局では、薬剤師ごとに服薬指導の仕方が異なるため、多くのことが学べる。
- ・薬学生が服薬指導を行うと、薬剤師には話をしない情報を得られることがある。

2. 指導しにくいISBOsへのヒント

- ①卸やメーカーなどにも協力してもらう
- ②薬局以外での業務も触れさせる
- ③新聞やTVのニュースなども積極的に利用する
- ④地域の資源を利用する

2-①卸やメーカーなどにも協力 してもらう

- ・MRやMSさんとの会話などに参加して
もらう。

- ・卸見学

⇒備蓄体制や麻薬や冷所保存の薬剤の
管理方法や卸の管理薬剤師の業務内
容などを学ぶ

2-①卸やメーカーなどにも協力 してもらう

メーカーによる薬局での研修会(説明会)

「透析の概要・薬剤について」

「認知症ケアに期待される薬剤師の役割」

「大人・小児のADHD」

「ジェネリックの製造技術・供給体制について」

「がん患者さんのための副作用対応レシピ」

「漢方薬：概論～症例」 など

2-②薬局以外での業務も触れさせる

- ・研修会(出雲支部は月1回開催)
(学生に質問をしてもらう)
- ・薬物乱用防止(ダメ。ゼッタイ。街頭キャンペーンへの参加):ゆめタウン出雲
- ・学校薬剤師(中学校向けの薬物乱用防止教室開催、照度、水質検査など)
- ・保健所などの行政機関の見学(講義)
- ・県薬主催の実務実習セミナーへの参加

2－③新聞やTVのニュースなども積極的に利用する

- ・高齢者の患者さんが多い薬局のため、新聞の見出しやNHKの放送内容、その日の天気などの話などをすると服用指導を行いやすくなることが多い。
- ・週刊誌(のんではいけない薬)やドーピング、薬物事件など話題も利用。
- ・病気や薬に関するTV番組。

2-③新聞やTVのニュースなども積極的に利用する

- ・**2019年11月27日**

医薬品医療機器等法(薬機法)が改正

- ・**2020年4月**

診療報酬改定

(一部の薬局は実習中に改定がある)

⇒改定に従って保険調剤を行っていることを関連させて学ぶ。

2-③新聞やTVのニュースなども積極的に利用する

⇒自由診療

**ニコチネル、バイアグラなどの薬価
基準未収載品や、薬価収載品でも
インフルエンザの予防投与などの
自由診療扱いになるもの**

**⇒麻薬、毒薬、劇薬、向精神薬などの
管理方法、帳簿への記載**

⇒麻薬の廃棄方法、届出

2－④地域の資源を利用する

・漢方薬・薬局製剤

**⇒漢方薬(浸煎薬、湯薬、丸剤など)の
調剤を行っている薬局へ依頼**

**丸剤を製造する機械などは普段目に
することがないため、学生が興味を持
ちやすい。**

2－④地域の資源を利用する

・OTC

**⇒取り扱いの多いドラッグストアの見学
医薬品のリスクに合わせた陳列や
説明方法の違いなど
スイッチOTC薬
介護用品**

2－④地域の資源を利用する

- ・**近隣の医院の診療見学**

⇒**検査結果だけで判断するのではなく
患者さんと話す、聞く、触診すること
が重要。**

**医師と薬剤師の説明が微妙に異なる
場合があるため、服薬指導をするとき
に気を付ける必要がある。**

2－④地域の資源を利用する

・在宅

⇒在宅を行っている薬局への依頼同行

**⇒ケアマネさん経由で施設見学依頼
施設の種類や利用料、入居待ち人数、
施設で働いている他職種の業務など
の説明をしていただく。**

2－④地域の資源を利用する

- ・**無菌調剤**

⇒**無菌調剤を行っている薬局に依頼**

- ・**災害医療(東日本大震災、熊本地震など)**

⇒**派遣された薬剤師に講義を依頼。**

薬剤師の役割(調剤・服薬指導だけでなく心のケアも必要)

3.トラブル対策へのヒント

トラブル事例

- ①実習生本人
- ②大学教員
- ③薬局スタッフ
- ④他の実習生
- ⑤実務実習委員会

トラブル事例 いろいろあります！

- **交通事故(出勤時、駐車場など)**
- **天災の発生(地震、台風など)**
- **実習生同士の仲違い**
- **実習生と指導者との不信感**
- **実習生の疾患、体調(骨折、気胸、パニック発作、偏頭痛、化学物質過敏症、インフルエンザ感染、妊娠など)**
- **情報流出(写真撮影、SNSなど)**
- **指導者の熱心な指導**

3-①実習生本人

- 本人との距離感の取り方はなかなか難しい
(近すぎず、遠すぎず):ハラスメントに注意
- 遅刻、早退、欠席などをはじめ、連絡はきちんとしてもらいましょう
- 褒めること、評価することも必要です(PNP:
ポジティブ・ネガティブ・ポジティブ)
- 実習生と二人きりになる空間はできる限り少なくしましょう

3-②大学教員

- **大学の担当教員をよく知っておきましょう(大学によっていろいろです)**
- **訪問に来られるに際しては、いくつか相談、報告事項を考えておいてください(必要ならば、実習生を外して二者での相談も)**
- **必要があれば、メールや電話、FAXなど迅速に連絡が取れることも必要です(他施設で実習を行う場合には事前連絡が必要)**
- **大学での発表についても把握しておきましょう**

3-③薬局スタッフ

- **他の薬剤師や事務員などの薬局スタッフにも協力してもらいましょう**
- **薬局スタッフみんなで実習生を見守っているという雰囲気づくりも大切です**
- **指導薬剤師がすべて一人で行おうとすると、実習生も、指導薬剤師もなかなか大変です**
- **薬局スタッフとのトラブル事例もあります**
- **会社組織の場合には会社幹部の理解も重要です**

3-④他の実習生

- **他の実習生との関わりも重要です(薬局実習では一人ぼっち感が強いので)**
(出雲地区では実習中に交流会を開催)
- **当委員会としても実習生同士の交流を想定した実習生セミナーを開催予定です**
- **情報については注意が必要です(SNSを介しての情報流出などのトラブル事例があります)**
- **情報についてはそのたびに確認しておくことも重要です**

3-⑤実務実習委員会

- 委員長 大庭信行(益田)
- 副委員長 斎藤大善(松江)、高木勇次(出雲)
- 担当常務理事 山田島智治(松江)
- 地域責任者 田中浩志(松江)
吉野学(雲南)
渡部賢司(出雲)
高木康介(大田)
遠藤久宜(浜田)
片野武俊(益田)

お気軽に
ご相談
ください

4. まとめ

薬学生の感想

実習を行って感じたこと

配布物にはない
スライドです！

薬学生の感想①

- 服薬指導を2日目から行うことに対して、初めは戸惑いがあったが、回数が増えることで自信がつき、自ら精神科や透析の患者さんの服薬指導を行うことができてよかった。
- 服薬指導における患者さんとの会話の大切さを理解できた。
- 近隣の医院の診療見学をして、医師の診断方法や、病院(医師)と薬局での薬の説明が異なることがあることがわかった。

配布物にはない
スライドです！

薬学生の感想②

- ・ 2か月半の実習の中で5回在宅に同行して患者さんとの対話というものが大切かということ学ぶことができた。
- ・ 薬局は薬の専門家ということだけではなく患者さんにとって、町の相談所として頼ることが出来る存在になっていかなければならないと感じた。

実習を行って感じたこと①

- 患者さんと接する機会を早い段階から持った方がよい。
- 理解のある患者さんがいれば、継続的に関わった方がよい。
- シミュレーション、ロールプレイは必要だが、実際の患者さんに関わるほうが実習を進めやすい。
(大学のロールプレイでは対応できない)
- テキストを使わず学生の知識を引き出すような問いかけなどを行うことで、お互いにストレスなく実習を行うことができた。

実習を行って感じたこと②

- 薬局以外での業務を多く体験させると学生の
実習の満足度が高くなる。
(実習終了後、他の学生と実習内容について
話した時に薬局でいろいろなことが体験で
きたと実感した)
- 指導薬剤師だけでなく他の薬剤師や薬局スタッ
フに協力してもらってもらうことで、多くの知識や会
話技術などを習得できる。
- 他の薬局で実習している薬学生との交流で学
生が成長できる。

ご清聴ありがとうございました